

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線活用量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア:北海道エリア（本土）

2024年度実績

[2024年4月16日現在]

[万kW]

通し番号		1		2					
出力制御内容	発信日	4月9日(火)17時頃 (前日指示)	4月10日(水)実績 (速報)	4月13日(土)17時頃 (前日指示)	4月14日(日)実績 (速報)				
	再エネ出力制御期間	4月10日(水) 11時30分～12時00分	出力制御なし	4月14日(日) 9時00分～15時00分	4月14日(日) 8時30分～14時00分				
	最大余剰電力 ^(注1) 発生時刻	11時30分 ∩ 12時00分		11時00分 ∩ 11時30分	10時30分 ∩ 11時00分				
	再エネ出力制御量	0*~1		0*~27	40				
予想需給状況	エリア需要 ^(注2) ①	335	342	278	267				
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	72	44	82	70				
	域外送電 ^(注4) ③	▲ 2	18	▲ 21	▲ 35				
	小計	405	404	339	302				
	供給力 ^(注5) ④	406	404	366	342				
	(再掲)再エネ出力	(264)	(249)	(227)	(217)				
再エネ出力制御必要量 ^(注6) (⑤=④-①-②-③) ⑤	1	0	27	40					

(注1)実績(速報)は制御量最大となる時間帯

(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3)揚水発電所を最大限活用

(注4)北海道一本州間連系線を最大限活用し、域外へ送電(マイナスは本州エリアからの受電を指す)

(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応

※オフライン制御で確保する制御量

【特記事項】

- ・再エネ出力制御量のうちオフライン制御量を超えるものは、需給状況を踏まえ、オンライン制御で対応